

第61期

# 年次報告書

2018年4月1日～2019年3月31日

## 株主の皆さまへ

To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、第61期の事業概況についてご報告申し上げます。

当事業年度における日本経済は、企業収益や個人消費の持ち直しが続く一方で、輸出の低迷や設備投資の伸び率鈍化など、一部で力強さに欠ける展開となりました。また、通商問題の動向が世界経済に与える影響などもあり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く経営環境についても、国内需要の低迷や継続的な原材料高、企業間における価格競争の激化等により、引き続き厳しい状況が続いております。

そのような中、当社は、高付加価値製品の開発や新規市場並びに新規顧客の開拓に努める一方、生産効率や業務効率の向上を図り、収益の確保に取り組んでまいりました。しかしながら、事業環境の低迷により収益性が低下したラミネートフィルム部門の生産設備等について減損損失を特別損失に計上いたしました。その結果、当事業年度の売上高は14,080百万円(前事業年度比108.9%)となり、経常利益は975百万円(前事業年度比92.3%)、当期純利益は469百万円(前事業年度比104.6%)となりました。

今後は、引き続き販売の拡大・業務効率化を進め収益の拡大を目指すとともに、社員一人ひとりが自律性を持って力を発揮できるようマネジメント体制の構築に取り組み、企業体質の強化に全社をあげて鋭意努力していく所存でございます。

株主の皆さまにおかれましても、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



ヤスハラケミカル株式会社  
代表取締役社長

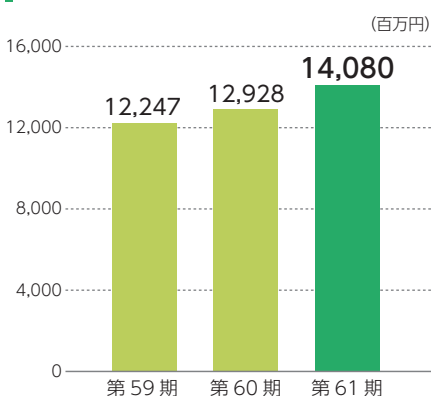
安原 稔二

## 財務ハイライト

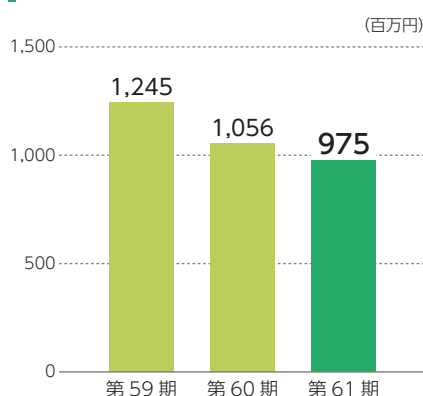
Financial Highlights

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

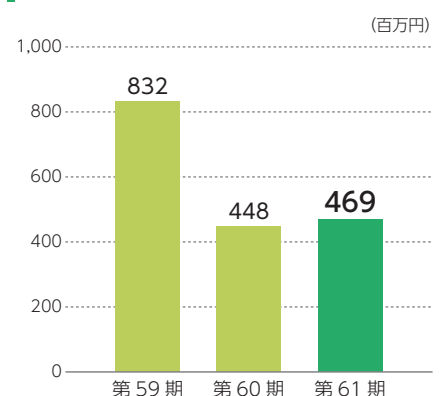
### 売上高



### 経常利益



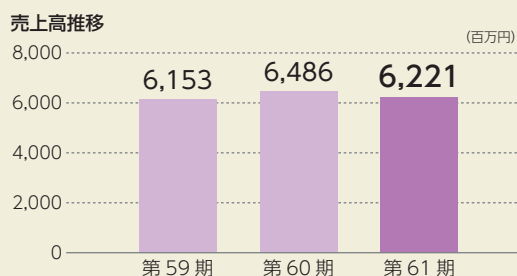
### 当期純利益



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

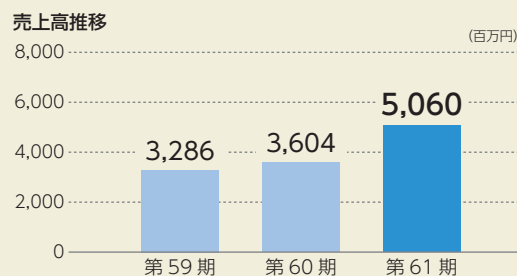
### テルペン樹脂部門

水添テルペン樹脂の生産中止に加え、自動車用品用途のテルペンフェノール樹脂及び医療や工業テープ用途のテルペン樹脂が低調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比95.9%と減収になりました。



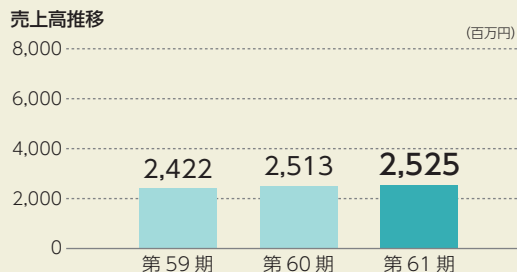
### 化成品部門

電子材料分野及び香料分野に加え木工用途のワックスが好調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比140.4%と増収になりました。



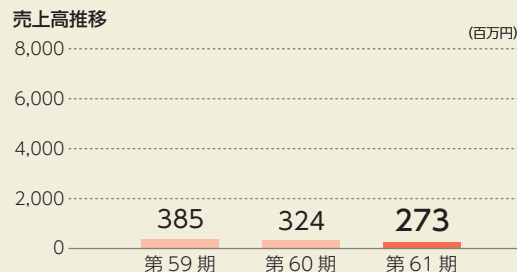
### ホットメルト接着剤部門

自動車部品用途の接着剤及び生活用品用途の粘着剤が低調に推移したものの、食品用途の押出グレード及び包装用途の汎用ホットメルトが好調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比100.5%と増収になりました。



### ラミネートフィルム部門

光沢化工紙用ラミネートフィルムが低調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比84.2%と減収になりました。



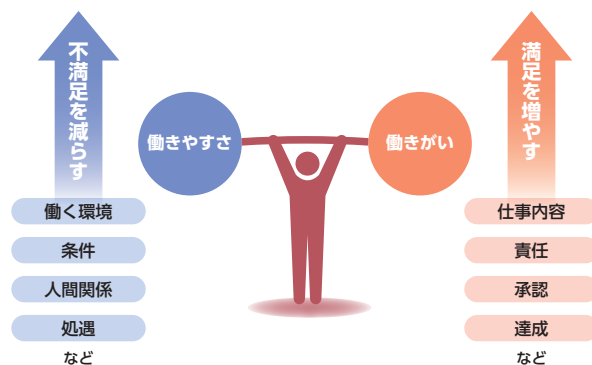
ハイライト

## 働き方改革に取り組んでいます。

当社では、社員一人ひとりがより能力を発揮できるような職場環境を構築し、時間当たりの生産性を向上させることを目指して、働き方改革に取り組んでいます。

会社での働き方を見直すことで仕事の効率を上げ、またそれに伴い生まれる余暇時間をどう充実させていくか、一人ひとりが自身の幸福や成長について考える機会となれば、個人と会社の活力向上につながります。

その実現に向けて、職場環境や労働条件などの「働きやすさ」や仕事へのモチベーションや達成感などの「働きがい」をどう高めていくか、を課題のひとつと捉えています。働きやすく働きがいのある会社にするための手段として、幸福という視点から自分を見つめ直し、働きがいについて考える研修を始めます。また、引き続き業務の棚卸しを行い、更なる効率化を図る予定です。



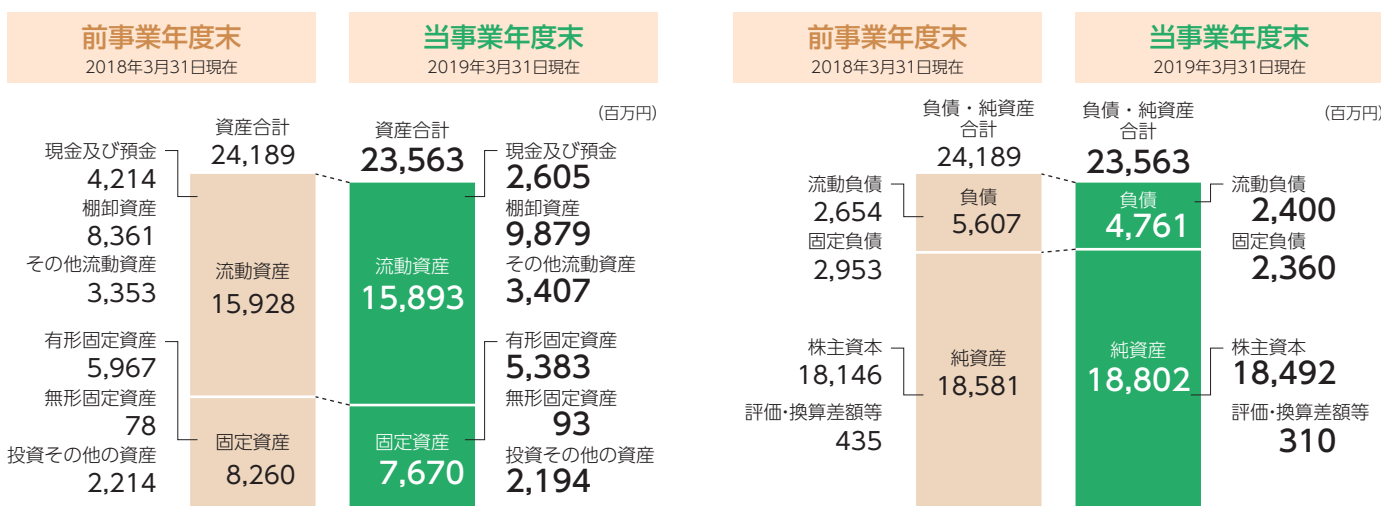
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

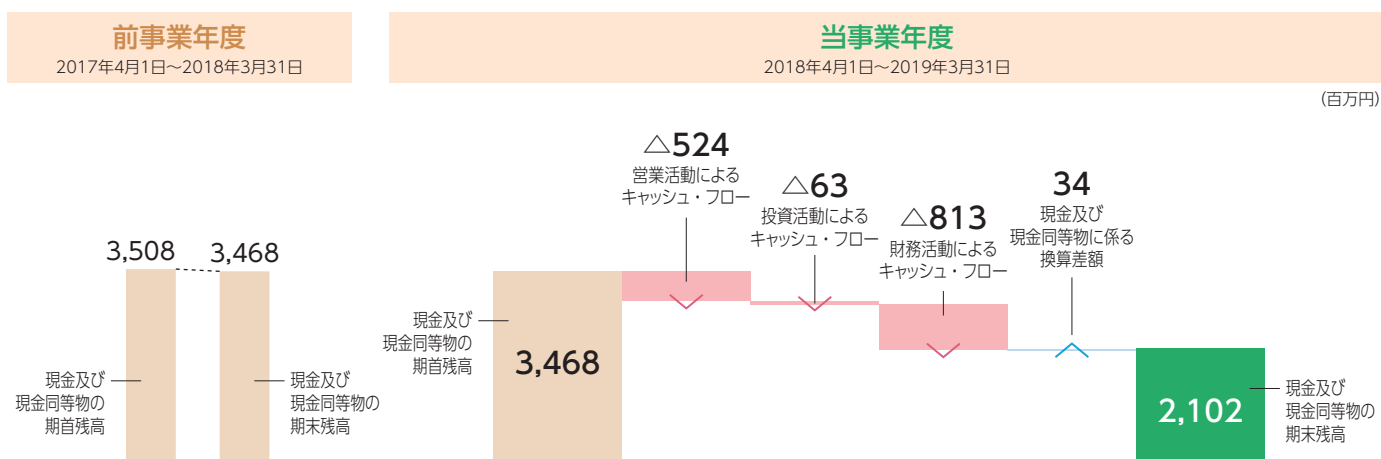
(百万円)

	前事業年度 2017年4月1日～2018年3月31日	当事業年度 2018年4月1日～2019年3月31日	前事業年度比
売上高	12,928	14,080	108.9 %
売上原価	9,998	11,228	112.3 %
売上総利益	2,929	2,851	97.3 %
販売費及び一般管理費	1,936	2,025	104.6 %
営業利益	993	826	83.2 %
経常利益	1,056	975	92.3 %
当期純利益	448	469	104.6 %

貸借対照表



キャッシュ・フロー計算書



## 株式の状況 (2019年3月31日現在)

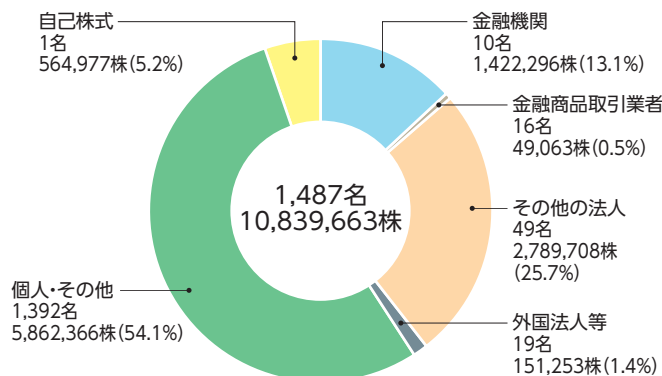
- 発行可能株式総数 ..... 22,000,000株
- 発行済株式の総数 ..... 10,839,663株
- 株主数(自己株式1名含む) ..... 1,487名

### ●大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ワイエス興産有限会社	1,237	12.0
安原禎二	1,191	11.6
ヤスハラケミカル取引先持株会	788	7.7
敷田憲治	694	6.8
株式会社中国銀行	511	5.0
沖津妙子	462	4.5
有限会社マキ	403	3.9
有限会社宗江	373	3.6
榎本キヨコ	300	2.9
後藤一紀	245	2.4

(注) 1.当社は、自己株式を564,977株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2.持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

### ●所有者別株式保有比率



(注) ( )内の数値は株式数の比率を表示しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
公告方法	日本経済新聞に掲載

## 会社の概況 (2019年3月31日現在)

商号	ヤスハラケミカル株式会社 YASUHARA CHEMICAL CO., LTD.
創業	1947年4月
設立	1959年2月24日
資本金	1,789,567,460円
従業員数	246名

### 主な事業内容

テルペン樹脂部門	テルペン系樹脂
化成部部門	合成香料原料、テルペン溶剤、ワックス
ホットメルト接着剤部門	ホットメルト接着剤
ラミネートフィルム部門	光沢ラミネートフィルム

### 営業所及び工場

本社	〒726-8632 広島県府中市高木町1080番地
東京事務所	〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目6番1号 三井住友海上テプコビル5階
大阪事務所	〒532-0003 大阪市淀川区宮原三丁目5番24号 新大阪第一生命ビルディング2階
研究所	〒721-0956 広島県福山市箕沖町117番
鶴飼工場	〒726-0002 広島県府中市鶴飼町800番111
福山工場	〒721-0956 広島県福山市箕沖町117番
総領工場	〒729-3702 広島県庄原市総領町亀谷1065番1
新居浜工場	〒792-0892 愛媛県新居浜市黒島一丁目7番7号

ホームページ <http://www.yschem.co.jp/>

## 役員 (2019年3月31日現在)

代表取締役社長	安原 禎二
常務取締役	沖津 弘之
取締役	敷田 憲治 経営企画部長
取締役	栗本 倫行 生産本部長兼技術一部長
取締役	中島 一臣 営業本部長
取締役(監査等委員・常勤)	中居 英尚
取締役(監査等委員)	前岡 良
取締役(監査等委員)	内林 誠之

(注) 取締役(監査等委員)前岡良氏及び内林誠之氏は、社外取締役であります。

### (ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。